矢掛霧の朝　2015.12.22

2015.12.22朝。
昨夜天気予報で岡山一帯に「濃霧注意報」が出された。
昨日一杯、雨がしっかり降り、そして今朝は暖かい。
起きてみると村は霧の底に沈んで視界は50mほどしか無い。
早速ヤッホー公園に向う。

里山田から南山田に入ってもあたりは一面の霧。
しかし、遙照山への坂道を登り始めると、
ほどなく霧の上に出て、
朝日を浴びる山々が姿を現す。
その上には底抜けの青空が広がっている。

国道を離れヤッホー公園への登山道に入る。
家から８分。
もうそこは雲の上。

11月の末に東京の友人たちがやって来て
ヤッホー公園の駐車場にテントを張り、
秋の夜の宴会を楽しんだ。
その折は紅葉はまだだった。
今年はもうそのまま紅葉は無いのかと思った。
ところが12月も下旬になったこの時期、
あまり派手ではないものの紅葉が見られる。
やはり今年は暖かいのか？

もう名残の紅葉だが、昔話あふれる吉備高原にふさわしい色合いだ。

中央の雲海の上に浮かぶ小さな山の向う側には禅寺の洞松寺がある。
そこでは毎朝4時半から修道僧による朝業が行われている。
巨大な木魚を伴奏に響く読経の音が聞こえてきそうだ。

中山の右手奥に総社の鬼城山が見える。かつてそこには温羅なる鬼が住んでいたと言う。
吉備津彦命がその退治に向ったが、温羅は20km西の矢掛まで逃げ、
この地でようやく決着が付いたと言う昔話が残っている。
毎年２月、ヤッホー公園の麓の御崎神社で温羅をかたどった的に弓矢を射る行事が続いている。
そう言うことが素直に納得される眺めと言えようか。

10年前に地元有志が発案してできたこの公園は、
ヤッホー公園と言う。
２番目の駐車場から正面に見える、
高さ50mもの流紋岩の地蔵岩に向って、
ヤッホーと叫ぶとこだまが返ってくる。
裏側の道から大岩の上まで登って、
遙照山の方に向って叫ぶと、そこでもこだまが聞こえる。
妙な名前だが実際にこだまを聞いて納得した。
町から15分、雲の上の山岳公園と言って良い希有な場所だ。

正面の中山と焼山の間を抜けて北へ行くと矢掛の市街地になる。
今朝はその全てが霧におおわれている。

中山の中腹では太陽の日射しを受けて雲の動きが慌ただしい。
今日はいずれ快晴になるだろう。